

# 「AIノーベル賞」時代の情報倫理

—技術・社会・倫理の課題

## 総合討論 (話題提供)

京都女子大学

水野義之

2025/01/26

「情報倫理オンラインセミナー」第9回 (日本情報倫理協会)

# これからどうなる？

- 米・中のAI開発：国際競争（経済戦争の時代）
- （日本社会の平和ボケ？）
- OpenAI(先行)に急迫する中国。米国AIマンハッタン計画
- このまま成長は続く（技術予測）
- 人類は置いてきぼり？（人間 vs. 金魚）しかし人間不在にならない
  - 社会は経済合理性で動く：人はAGI/ASIに[徐々に]代替
  - 社会変動は時間が掛かる（技術は人間に役立ってこそ普及）
  - 資本の論理（経済合理性）で徐々に動く
- => 社会システムと法・倫理：調整が必要
- …… それは、どんなもの？<sup>2</sup>（社会枠組と法・倫理）

# 二つの論点

- **論点1 : (AI開発で)社会変動がどう起こる？ (20分)**
- **論点2 : (対応に必要な)社会枠組と法・倫理 (30分)**
- **これをどう考える？**

# 論点1：AI開発と社会変動

- 1) 何がどう変化するか？(雇用の未来。今回は予測しない)
- 2) 今後の社会変動に、どう対処するか？(どう考えるか)
- 社会変動は時間が掛かる(技術は人間に役立つから普及)
  - 技術が、社会に歓迎されなければ、普及しない。
  - 普及しない技術は、やがて消える(「社会」と人が選ぶ)
  - しかし今後のAIは、広く普及する(のではないか)
  - 経済合理性で、仕事の自動化(仕事の質も量も変わる)
  - 松田卓也：明るい寝たきり生活。竜宮城(個人ハーレム)
  - ベーシックインカム(AIかBIへ)。(生活保護状態)
- 社会は、資本の論理(経済合理性)で徐々に動く

これをどう考えるか？

# 論点2：社会枠組と法・倫理

一作業仮説：過去の事例を振り返る

1. 著作権法の国際枠組み
2. 放射線管理の国際枠組み
3. 核兵器禁止の国際枠組み
4. 気候変動対策の国際枠組み
5. 戦時条約の国際枠組み

# (1) 著作権法の国際枠組み

- 19世紀末：著作物の国際流通 ⇒ V. ユーゴー提案
- 1886年（明治9）：ベルヌ条約
  - 1952年（昭和27）万国著作権条約
- WIPO（世界知的財産機関）
- 条約に加盟、原則を機関決定、各国の法律に取込み

# (2) 放射線管理の国際枠組み

- 1895年 X線の発見、1896年 放射能の発見
- 1897年 電子の発見、1898年 ラジウム分離（放射性物質）
- 1900年 プランク量子仮説、1925年 量子力学の完成
- 1915年(第1次世界大戦) キュリー夫人レントゲン車で救護～障害
- 1927年 ICXRP（国際X線ラジウム防護委員会）
- 1938年 核分裂の発見(爆弾可能性)、1941年 フェルミの原子炉
- 1945年 原爆（～障害）、利用拡大（医療、原発、…）
- 1950年 ICRP（国際放射線防護委員会）
- 現在 ICRP勧告（主勧告）=>各国の放射線防護の法律改訂



# (3) 核兵器の禁止の国際枠組み

- 1945年 原爆
- 1954年 ビキニ環礁水爆 (ビキニ語源)、日本漁船の被爆
- (原水爆は実験し放題…)
- 1963年 大気圏内の原水爆実験禁止条約 (PTBT)
- 1970年 核兵器不拡散条約 (NPT)
- 1996年 包括的核実験禁止条約 (CTBT)
- 国際的な条約、批准、国際管理
- 問題は大きい。米露英仏中=保有国 (二重基準), 非保有国に国際管理困難

# (4) 気候変動対策の国際枠組み

- 1986年 旧ソ連 官僚制度不全・困難 (SDI, チェルノブイリ)
- 1988年 ゴルバチョフ国連演説「環境の世紀」(冷戦終結)
- 1988年 IPCC (気候変動に関する政府間パネル) WMO/UNEP
- 各国政治家に向けAR (アセスメント報告) 国際秩序管理 (コントロール)
  - 政治家向け報告: SPM (Summary for Policymakers)
  - 科学者向け報告: TS (Technical Summary)
- 問題は大きい。しかし各国がIPCC加盟、合意形成 (cf.トランプ米国)
- 現在は「AR6」 (AR7の準備中)

# (5) 戦時条約の国際枠組み

- ハーグ条約（陸戦条約）、ジュネーブ条約など
- 宣戦布告。
- 非戦闘員、降伏者、捕虜の保護
- 大量破壊兵器(MDW)の禁止
- 「失敗」の積み重ね

# 我々はAIの社会変動に対応できるか？

- AIの開発状況を、ウォッチしつつ、対応の「時間」を稼ぐ
- (新型コロナ対応と類似。ワクチン開発の時間を稼ぐ)
- これで対応できる (のではないか?)
- しかし、今後は社会変動を意識して、行動する必要あり
- 倫理の課題：この「知識、意識、行動」のサイクルを回す
  1. 利用経験・失敗経験の蓄積。知識の普及 (知らない現状)
  2. 長所・欠点を知ること、初めて、主体的に意識できる
  3. 意識することで、行動 (経営、購買、投票、社会教育…) へ

これをどう考えるか？